

企画提案書類 作成要領

1 提出書類

提出書類、様式及び提出部数は次表のとおりとする。

提出書類の名称	様式	提出部数	注意事項
① 企画応募書	様式1	1部	
② 企画提案書	自由	6部	※1
③ 経費積算書	自由	6部	※2
④ 事業実施体制及び同種事業実績	様式2	6部	
⑤ 提出者（提出団体）の概要が分かる資料	自由	1部	※3
⑥ 直近3か年の決算報告書	—	1部	
⑦ 社会的価値の実現に資する取組に関する申告書及び申告内容に係る関係資料	様式3	1部	※4

(注意事項)

※1 A4用紙に横書き（要ページ番号）とすること。ただし、イメージ図などを記載する場合、A3判の用紙をA4判サイズに折りたたみ挿入することは可とする。

必要に応じて、図表・絵等を用いて分かりやすく記載の上、左上をホチキス等でとめること。

※2 業務の実施に係る見積額の内訳がわかるように項目ごとに記述すること。見積額には、消費税及び地方消費税の額も記載すること。

※3 既存の資料で可とする。

※4 応募要件ではない。

2 企画提案のポイント

(1) 「企画提案書（様式任意）」について

貴社の業務の進め方等について、次の事項を参考に御提案ください。

項 目	提 案 内 容
1. 業務全体の方針・進め方	<p>(1) 業務全体の方針</p> <ul style="list-style-type: none"> ・業務を進める上での基本的な考え方やねらい、特に重点を置く点、特徴、アピールポイント等について、具体的に記載すること。 <p>(2) 業務実施の工程（プロセス）及びスケジュール</p> <ul style="list-style-type: none"> ・業務全体の工程（プロセス）及びスケジュール（契約予定の2026年4月上旬から2027年3月18日の間）について記載すること。
2. 調査業務内容	<p>(1) 事業全体のマネジメント</p> <p>愛知県農業水産局農政部農業経営課普及・営農グループ（以下、「普及営農」という。）、愛知県農業総合試験場普及戦略部（以下、「普及戦略部」という）と打合せを定期的に行い（月1～2回程度を想定）、事業全体の連絡調整、進捗管理等のマネジメントを行う。</p> <p>(2) 事業プランの実行に向けた伴走支援の実施</p> <p>ア 2024・2025年度に策定した事業プランの実行に対する伴走支援</p> <ul style="list-style-type: none"> ・2024・2025年度に選定した4つのテーマ（別紙：現場フィールド活用型イノベーション推進事業における4つのテーマと参画企業参照）の各事業プランの実行に際して、各プランの内容を踏まえ、専門的な見地から助言を行える者を選定・派遣するなどして伴走支援を行う。 ・前項の伴走支援は、県の普及指導員等で組織する「テーマ別検討チーム」が実施する『設計検討』、『中間検討』、『成績検討』への参加によるほか、類似知財の確認や社会実装に向けたビジネスモデル検討などを通じたスタートアップ等への支援などにより行うこととする。 <p>イ 2025年度に社会実装した課題のフォロー</p> <ul style="list-style-type: none"> ・2025年度に社会実装した2課題の成果を追跡し、改善すべき問題に対してはフォローする。 <p>(3) 持続的なイノベーション創出に向けた体制整備の支援</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本事業で得られた、農業現場の課題や技術シーズを拾い上げ、スタートアップ等と普及組織が協働して農業現場で実証し、創出されたイノベーションを社会実装するスキームのマニュアル化を行い、普及戦略部が中心となる持続的な体制整備を支援する。 ・体制整備の実証として、2027年度に取り組む新たなテーマ抽出に向けた支援を行う。 <p>(4) 普及指導業務のDX化の支援</p> <ul style="list-style-type: none"> ・普及指導員が、効率的かつ持続的に普及指導業務を行うためのDX化を支援する。

	<ul style="list-style-type: none"> ・DXツールは、愛知県が導入するノーコード・ローコードツール等を使用する。県が活用するにあたり、より実用的かつ継続的な改善ができるツールになるようサポートする。 ・業務改善に資するデジタル技術ツールや、先進地で活用している事例を提案する。 <p>(5) 報告会の開催</p> <p>ア 中間報告会 事業プランの進捗状況を確認するため、事業プランごとの進捗状況を10月末までに普及営農に報告する。</p> <p>イ 成果発表会 2027年2月に開催予定の「あいち農業イノベーションサミット」のプレイベントとして、本事業の成果発表会を開催する。会場はSTATION Ai（名古屋市）のイベントスペース等を想定しており、借用からイベント運営について行う。 また、農業者の意見を反映できるようにアンケートを取り、事業にフィードバックする。</p>
3. その他	<ul style="list-style-type: none"> ・貴社の知見・ノウハウを活用し、その他本業務をより効果的に実施するための追加事項について、具体的に記載すること。

(2) 「事業実施体制及び同種事業実績（様式2）」について

項目	記載内容
1. 事業実施体制	<ul style="list-style-type: none"> ・本業務を実施する総括責任者及び業務担当者の氏名、所属・職名、実施体制などについて、詳細に記載すること。
2. 同種事業実績	<ul style="list-style-type: none"> ・本業務に類似または関連する業務の実績がある場合は、過去5年間（2021～2025年度）の実績について簡潔に記載すること。